栄養科学部

教育目標

栄養科学部は、建学の精神に基づき、理論と実際の統合を図り、食と栄養に関する諸問題の解決に必要な専門知識を有し、社会に貢献できる実践力のある人材を養成します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

栄養科学部では、４年以上在学し本学の課程を修め、かつ各学科が定める教育目標に到達し職業人として必要な専門的知識及び技能を総合的に活用・実践する能力を身に付け、かつ幅広い教養と国際感覚を持つ者に学士（栄養科学）の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

栄養科学部では、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能などの目標を達成するために、各学科が定める教育目標に沿った専門性の高い教育課程を体系的に編成し、主体的な課題把握と研究態度を修得させ、科学的・論理的思考力を養う教育を行います。

各学科の教育課程においては、知識・技能等の育成を実現するとともに、学内および学外での学びを連関・充実し、理論と実際の統合を目指します。

学修成果の具体的な内容と評価方法は、シラバスに記載します。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

栄養科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに定める教育を受け、食と栄養に関するグローバルな視野を有し、高い志を持って社会に貢献する専門家を育成するため、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

1．高等学校卒業レベルの教養、語学力ならびに基礎的な科学知識を有している人
2．知的好奇心が旺盛で、食と栄養に関わる分野で活躍したい人
3．他者の気持ちを理解し、人々の生活に寄り添える人間性豊かで倫理観のある人
4．労を惜しまず知識・技能の修得に積極的な人
5．基本的なコミュニケーション能力を身に付けており、常に向上心を持ちリーダーシップを発揮できる人